

県道前橋赤城線（上細井工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

地元
の声

- ・災害時に電柱が道を塞がないようにしてほしい(地域住民)
- ・歩道を整備して、安全な通学路を確保してほしい(地域住民・小学校)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市上細井町
- 事業内容: 電線共同溝、歩道整備
延長1,400m
- 事業期間: 令和元年度～

■ 現在の交通量: 6,361台/日(自動車)
(R3年度) 34人/12時間(歩行者)
46台/12時間(自転車)

事業前

- ◆地震や暴風時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。また、歩道幅員が狭く、通学する児童の支障となっています。



事業前の状況

事業後

- ◆道路上の電柱がなくなり、歩道幅員が広がることで 災害時でも安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
防災拠点と交通拠点間 (前橋行政県税事務所～駒寄IC) の無電柱化率	26.92%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
35.90%
なし

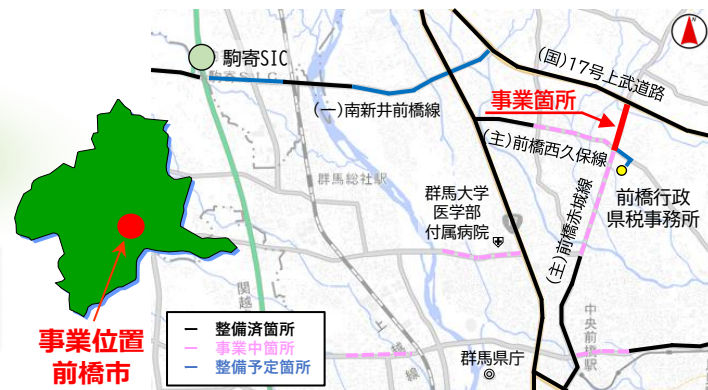
事業のすすみ具合

事業開始

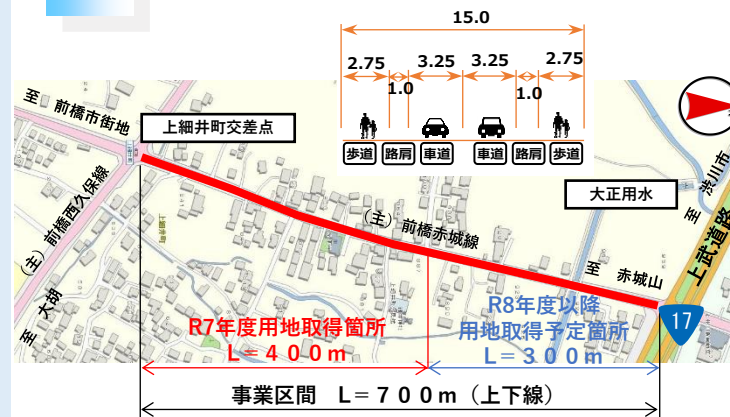


事業完了

電線を地中化して
電柱を撤去します



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、歩道拡幅のための用地取得を進めています。

